



野口 ひろし
090-7095-4929



安藤 かおる
090-1919-3951



ひろ 豊
090-3976-5963



増永 わき
090-9254-7643

摂津市議会第2回定例会終わる。(6月10日~25日)

新型コロナから市民のいのち・くらし守る市政に！引き続き奮闘

市議会議員定数削減条例（19⇒18）案に 対する反対討論

本議案は議員定数を現行 19 名から 1 名減の 18 名にするというものです。

いま、新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民の命、健康をかつてない危機にさらしました。住民の福祉増進を使命とする地方自治体には、あらためて医療や公衆衛生、保育や介護などのあり方を検証し、見直しや体制強化をはかることが求められています。

そして、議会は市民の多様性を反映し、これまで以上に建設的提案や市政のチェックを行なっていかなければなりません。こういうときに議会の機能縮小につながる定数削減を行うべきではありません。

摂津市議会の議員定数は 4 年前に 2 名削減し 19 名となりました。それに伴い、それまで 4 つあった常任委員会は、3 つに統合することになりました。各委員会の所管項目が増え、審議機能の後退につながったのではないかなど、検証が必要です。

今、必要なことは、議員定数の削減ではなく、二元代表制の一翼を担うべく、多様な市民の立場で市政をチェックし、市政に反映させる議会機能の強化であることを申し上げ、反対討論とします。

摂津市議会において議員定数削減条例が否決されたのは初めてのことです。

日本共産党議員団は、議会議員の定数は、多様な市民と市政をつなぐパイプであり、議会のあり方や適正な定数についての議論が十分にされないまま選挙直前に採決することはおかしいと、反対を貫いています。

6月25日、今任期では最後となる定例会市議会が終了しました。今回、議会3役以外の16名がすべて一般質問を行い、日本共産党からも4名が市民のみなさんから寄せられる声や市政運営上の問題点など取り上げて質問を行いました。(ウラ面に各議員の主な質問内容など掲載)追加議案として、国の制度で7月から取り組まれる、「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」に関する補正予算や、相次ぐ不適正な事務処理に隠ぺい体質などが指摘された第三者委員会の最終答申を踏まえ、「市長・副市長の給与を3か月間2割減額する条例」などが提案され、日本共産党議員団は、そのいずれも賛成し可決されました。また、議会提出の議案のうち、維新の会・改革クラブが提案した「議員定数の削減条例案」については、提案者以外の賛成者はおらず否決されました。本会議で日本共産党議員団が述べた反対討論の要旨は左記の通りです。

**補正予算等は全会一致で可決！
「議員定数の削減条例案」は否決に…**

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について

対象となるのは、総合支援資金の特例貸付を利用したことがある世帯のうち、次のいずれかに該当する世帯です。

- ・総合支援資金の再貸付を借り終わった世帯又は8月末までに借り終わる世帯
- ・総合支援資金の再貸付が不承認となった世帯
- ・総合支援資金の再貸付の相談をしたものの、申込みに至らなかった世帯

総合支援資金とは
社会福祉協議会が行う
生活福祉資金の貸付で
新型コロナの影響では
特例が設けられ多くの
方が利用しています。

お問い合わせは、摂津市役所 生活支援課

☎ 06-6170-1280 (生活困窮者自立相談支援)

6月24日・25日の本会議において日本共産党から4名が一般質問を行いました。

安藤かおる議員

質問項目と主な内容は、以下の通りです。

◇鳥飼まがひくまのランドデザイン策定について

問 「高台のまちづくり」の具体的なイメージを問う。

答 【市長公室長】 高台の規模、高さは一律ではなく、水害リスクとその場所の目的や機能を考慮し高さを設定する。

問 狭く傾斜や凹凸のある危険な歩道の安全対策を問う。

答 【建設部長】 歩道の現況や利用状況、地元の意見を聞きながら歩道における安全確保を図っていく。

問 住工混在の準工業地域であるが故の環境問題の課題もグラントデザイン策定の重要な視点である。見解を問う。

答 【市長公室長】 今後更なる少子高齢化を踏まえ、将来あるべき用途地のあり方について一定の議論は必要。

その他の質問項目

・児童センター等子どもの居場所づくりについて



野口ひろし議員

◇JR千里丘駅西地区再開発について

問 現在、各権利者の意向の確認と資産評価等について協議されていると思う。これまで申し上げてきた都市計画法第74条に基づいた地権者の生活再建策や地元周辺商店との協議などの取組み状況を問う。

答 【建設部長】 現在、関係権利者の方々に国が定める「損失補償基準」に基づき従前資産の評価を行なっている。権利変換計画作成に向けてその内容の説明と合わせて転出先を紹介するなど丁寧に対応してまいりたい。

その他の質問項目

・市民とともに取組む防災力強化について
・摂津市の今後の保健医療体制について
・長引くコロナ禍における市民生活の実態と支援策について

増永わかき議員

◇発ガン性が指摘されるPFOA汚染が一津屋地域に広がっている問題について

問 危険性が認定されたPFOAが検出された。発元はダイキン。国基準はどうか。

答 【生活環境部長】 水の目標値50ng/L。一津屋水路5300ng/L、地下水22000ng/L検出。

問 とんでもない高濃度。住民の畑・農作物・血液からも高濃度検出。保護者から味生小学校調査の要望書が出ている。

答 【生活環境部長】 市に権限ない。水以外の基準もない。

問 摂津市の汚染、国会でも問題にされた。命守るのが市の役割。大企業への付度か。せめて国・府に要望すべき。

答 【生活環境部長】 調査を要望する等は考えていない。

その他の質問項目

・マイナンバーカード紛失に関する議会への虚偽・隠ぺいの報告・答弁について

・中学校での全員給食を早期に実施することについて
・東別府地域における道路の安全確保について

ひろ豊議員

◇新型コロナウイルス陽性患者及び濃厚接触者の自宅療養における支援策について

問 大阪では感染しても入院等ができずに自宅療養となるケースが多く発生している。他市で取り組まれている買い物支援等の施策を実施すべきではないか。

答 【保健福祉部理事】 茨木市において陽性者・濃厚接触者と判断され外出自粛要請を受けた世帯に日用品等の配達や買い物代行等が行われている。他市での事例など情報収集を引き続き行い、コロナ対策全体の議論の中で検討する。

その他の質問項目

・新型コロナワクチン接種の予約受付の混乱と今後の改善策について
・旧味舌小学校跡地の防災空地を活用した市民の憩いの場を作ることについて

・保育所・学童保育の待機児童ゼロを即時に実現することについて